



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月28日

上場会社名 株式会社第四北越フィナンシャルグループ
コード番号 7327 URL <https://www.dhfg.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 殖栗 道郎

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 三島 康人

TEL 025-224-7111

四半期報告書提出予定日 2023年8月4日

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円、小数点第1位未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	48,619	18.2	13,350	25.3	10,875	32.4
2023年3月期第1四半期	41,102	17.3	10,654	65.2	8,211	88.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 27,636百万円 (—%) 2023年3月期第1四半期 △14,996百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2024年3月期第1四半期	242.04	—
2023年3月期第1四半期	180.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	10,756,065	440,403	4.0
2023年3月期	10,517,951	415,423	3.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 440,386百万円 2023年3月期 415,423百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2023年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	70.00	—	70.00	140.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2024年3月期(予想)の第2四半期末配当金の内訳 普通配当65円00銭、記念配当5円00銭

(注3) 2024年3月期(予想)の期末配当金の内訳 普通配当65円00銭、記念配当5円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	12,600	△27.5	10,000	△19.1	222.47
通期	27,500	9.7	20,100	13.1	447.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	45,942,978 株	2023年3月期	45,942,978 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2024年3月期1Q	993,988 株	2023年3月期	1,010,483 株
------------	-----------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	44,933,181 株	2023年3月期1Q	45,403,517 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1)経営成績に関する説明	P. 2
(2)財政状態に関する説明	P. 2
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1)四半期連結貸借対照表	P. 3
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(企業結合等関係)	P. 7

※2024年3月期 第1四半期決算説明資料

1. 【当四半期決算に関する定性的情報】

(1)【経営成績に関する説明】

当第1四半期連結累計期間の損益状況につきましては、以下のとおりとなりました。

経常収益は、株式等売却益の増加等により前年同期比 75 億 17 百万円増加し、486 億 19 百万円となりました。

経常費用は、外貨調達コストの増加等により、前年同期比 48 億 20 百万円増加し、352 億 68 百万円となりました。

以上の結果、経常利益は前年同期比 26 億 96 百万円増加し、133 億 50 百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比 26 億 64 百万円増加し、108 億 75 百万円となりました。

(2)【財政状態に関する説明】

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比 2,381 億円増加し、10 兆 7,560 億円となりました。また、純資産は前連結会計年度末比 249 億円増加し、4,404 億円となりました。

主要勘定の残高につきましては、預金は前連結会計年度末比 838 億円増加し、8 兆 4,513 億円となりました。譲渡性預金は前連結会計年度末比 366 億円減少し、1,766 億円となりました。

貸出金は前連結会計年度末比 6 億円減少し、5 兆 2,653 億円となりました。

有価証券は前連結会計年度末比 922 億円減少し、2 兆 7,791 億円となりました。

(3)【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】

当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、第2四半期予想値を上回っており、通期予想値に対する進捗率は約 54%となっておりますが、商品価格の高騰等を背景とした世界的なインフレ率の高止まりや、インフレ抑制に向けた欧米での金融引き締めの影響など、取り巻く経営環境の変化や動向を見極める必要があることから、2023年5月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想に修正の必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

2. 【四半期連結財務諸表及び主な注記】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
現金預け金	2,031,509	2,375,203
買入金銭債権	15,609	12,807
商品有価証券	2,558	2,561
有価証券	2,871,378	2,779,112
貸出金	5,265,963	5,265,310
外国為替	19,566	20,697
その他資産	213,929	208,625
有形固定資産	56,018	57,245
無形固定資産	11,428	10,787
退職給付に係る資産	16,521	16,962
繰延税金資産	21,778	13,715
支払承諾見返	20,738	21,443
貸倒引当金	△29,048	△28,407
資産の部合計	10,517,951	10,756,065
負債の部		
預金	8,367,554	8,451,354
譲渡性預金	213,228	176,609
売現先勘定	175,576	154,237
債券貸借取引受入担保金	308,046	363,968
借入金	902,795	1,019,807
外国為替	463	397
信託勘定借	8,386	9,586
その他負債	91,348	105,461
賞与引当金	2,354	183
役員賞与引当金	107	—
株式報酬引当金	697	737
退職給付に係る負債	625	1,049
役員退職慰労引当金	37	40
睡眠預金払戻損失引当金	1,189	1,092
偶発損失引当金	1,910	1,781
特別法上の引当金	16	15
繰延税金負債	2,541	2,990
再評価に係る繰延税金負債	4,907	4,907
支払承諾	20,738	21,443
負債の部合計	10,102,527	10,315,662

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	102,980	102,980
利益剰余金	293,973	302,129
自己株式	△3,066	△3,021
株主資本合計	423,887	432,088
その他有価証券評価差額金	△19,886	△15,810
繰延ヘッジ損益	288	13,065
土地再評価差額金	5,724	5,724
退職給付に係る調整累計額	5,409	5,317
その他の包括利益累計額合計	△8,463	8,297
非支配株主持分	—	17
純資産の部合計	415,423	440,403
負債及び純資産の部合計	10,517,951	10,756,065

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
経常収益	41,102	48,619
資金運用収益	21,341	24,215
(うち貸出金利息)	11,526	12,182
(うち有価証券利息配当金)	9,468	9,755
信託報酬	34	28
役務取引等収益	6,792	8,180
その他業務収益	10,776	11,185
その他経常収益	2,157	5,010
経常費用	30,448	35,268
資金調達費用	1,040	7,792
(うち預金利息)	120	137
役務取引等費用	2,132	2,719
その他業務費用	7,836	6,249
営業経費	15,710	16,129
その他経常費用	3,727	2,377
経常利益	10,654	13,350
特別利益	939	1,512
固定資産処分益	939	58
段階取得に係る差益	—	109
負ののれん発生益	—	1,343
金融商品取引責任準備金取崩額	—	1
特別損失	89	90
固定資産処分損	13	36
減損損失	75	53
税金等調整前四半期純利益	11,504	14,773
法人税、住民税及び事業税	2,479	2,548
法人税等調整額	752	1,349
法人税等合計	3,231	3,897
四半期純利益	8,273	10,875
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	61	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,211	10,875

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	8,273	10,875
その他の包括利益	△23,269	16,761
その他有価証券評価差額金	△25,194	4,075
繰延ヘッジ損益	2,031	12,777
退職給付に係る調整額	△106	△91
四半期包括利益	△14,996	27,636
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△15,078	27,637
非支配株主に係る四半期包括利益	82	△0

(3) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

<株式会社エヌ・シー・エス及び株式会社ブリッジこいがたの子会社化>

当社は、2022年12月9日の当社取締役会決議に基づき、2023年4月3日に株式会社エヌ・シー・エス及び株式会社ブリッジこいがたの株式を取得し、当社の連結子会社としております。その概要は以下のとおりであります。

1. 企業結合の概要

(1)被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称	事業の内容
株式会社エヌ・シー・エス	コンピューター関連業務
株式会社ブリッジこいがた	地域商社事業

(2)企業結合を行った主な理由

システム事業を再編することで、グループガバナンスの強化を図るとともに、グループ総合力を発揮し、地域経済への一層の貢献と当社連結利益の最大化を実現することを目的とするものです。

(3)企業結合日

2023年4月3日

(4)企業結合の法的形式

非支配株主からの株式取得及び連結子会社からの現物配当

(5)結合後企業の名称

結合前当事企業の名称	結合後当事企業の名称
株式会社エヌ・シー・エス	株式会社第四北越ITソリューションズ

株式会社ブリッジこいがたの名称に変更はありません。

(6)取得した議決権比率

結合前当事企業の名称	企業結合直前に保有していた議決権比率	企業結合日に取得した議決権比率	取得後の議決権比率
株式会社エヌ・シー・エス	14.9%	85.0%	100.0%
株式会社ブリッジこいがた	14.3%	71.4%	85.7%

(7)取得企業を決定するに至った主な根拠

企業結合に関する会計基準上の取得決定要素に基づいております。

2. 取得原価の算定等に関する事項

(1)被取得企業の取得原価

企業結合直前に保有していた普通株式の企業結合日における時価	235百万円
追加取得した普通株式の時価	737百万円
取得原価	973百万円

(2)被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

段階取得に係る差益	109百万円
-----------	--------

3. 取得原価の配分に関する事項

(1)企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	2,179百万円
固定資産	1,559百万円
資産合計	3,738百万円

流動負債	939百万円
固定負債	464百万円
負債合計	1,404百万円

(2)発生した負ののれんの金額及び発生原因

①発生した負ののれんの金額 1,343百万円

②発生原因

企業結合時の時価純資産が被取得企業の取得原価を上回ったため